大崎第一地域ニュース
はなぐるま
第141号
2019.2.20発行

編集　はなぐるま編集委員会
〒141-0031 品川区西五反田3-6-3
TEL:3491-2000
saki1c@city.shinagawa.tokyo.jp
発行元　大崎第一地域センター

おかげさまで30周年

地域ニュース「はなぐるま」創刊号が平成元年1月20日に発行されてから、おかげさまで30周年を迎えることができました。つきまして、今回は、「平成」を彩ってきた記念号でこれまでの軌跡を振り返ってみたいと思います。

ねむの木の庭が開園しました

五反田駅から北に7分ほど行った閑静な住宅街に区立公園「ねむの木の庭」があります。ここは、皇后陛下美智子さまのご実家であった正田邸跡地を区が国から払い下げを受け、平成16年8月26日に庭園風の公園として一般公開したものです。

公園の名称は、皇后さまが高校時代に作詞された「ねむの木の子守歌」にちなんで命名されたものです。面積は約175坪とこじんまりとしており、シンボルである「ねむの木」をはじめプリンセスミチコと名づけられたバラ、皇后さまがお好きなユウスゲやシラカバ（「旧正田邸を守る会」が寄贈）など数十種類の樹木や草花が四季折々に花を咲かせ、訪れる人の目を楽しませてくれます。皇后さまの御歌集「瀬音」に登場する植物には銘板がついており、表には御歌が書かれており、ふたを開くとその植物の説明文があります。なお、庭園中央にあるガス灯は正田邸にあった暖炉の場所のあとにしつらえてあり、門柱とともに正田家を偲ぶよすがとなっています。

ねむの木の庭を天皇皇后両陛下がご訪問

天皇皇后両陛下　傘寿記念
ねむの木の庭　記念植樹
タラヨウ　モチノキ科
両陛下が和歌を愛されることから、古くより葉の裏に文字を書いて「葉書の木」として使われてきた「タラヨウ」を植樹する。
平成二十六年七月二日

天皇皇后両陛下がここに植樹されたことがあります。その時の説明板には次の通り記されています。

（編集委員　中村）

ねむの木の庭
所在地：東五反田5-19-5
開園時間：9時～17時　入場無料

目黒川の今昔と荏原市場跡

目黒川は世田谷区に源を発し、世田谷、目黒、品川の3区を流れ東京湾に注いでいます。「はなぐるま」では、目黒川の源流から東京湾に注ぐまでを何号かにわたり特集したこともあります。

昭和30年代初めころまでは、この川で友禅流しもおこなわれ、かつては魚釣りや水遊びで賑わい、蛍も飛び交う清流だったそうです。その反面、川幅が狭く水深も浅かったため、大雨が降るたびに川の流れが変わるほど氾濫し、暴れ川と異名をとるほどだったそうです。そのため護岸工事が繰り返され、昭和12年には船が運航できる運河として完成し、曲がりくねっていた川の流れもほぼ現在と同じように真っすぐになったようです。昭和2年に始まった川沿いの桜の植樹も護岸工事のたびに記念として植えてゆき現在の桜並木を生むきっかけとなりました。今では区と東京都により廃止された荏原市場（昭和11年業務開始）跡地に地上部が高齢者複合施設（大崎第一地域センターがある施設）や都営住宅、地下に4層構造の貯留施設「目黒川荏原調節池」という貯水槽も完備し、大雨が降って増水することはあっても氾濫することはなくなりました。

当時の荏原市場のにぎわい

現在五反田の大崎橋付近では舟運事業の拠点となる桟橋を整備する工事がおこなわれています。この桟橋は観光船などが発着できるリバーステーションとして利用し、災害時には防災桟橋として活用するとされています。オープンは平成31年12月です。

春には800本以上の桜が咲き誇り、冬には五反田水辺ひろばから居木橋まで冬の桜が夜空を彩り多くの人を楽しませてくれています。

（編集委員　服部）

東急目黒線の地下化

東急目蒲線（現在の目黒線）は開かずの踏切による交通渋滞や地域を分断するなどの課題があり、平成7年に道路と鉄道の立体化事業の認可が下りました。

そして、平成18年7月2日（1日の終電運行終了後）に、不動前駅で夜を徹しての地下化の切り替え作業が行われました。

この立体交差化によって不動前駅から洗足駅までの約2.4キロ間、18ヵ所の踏切全てが解消され、課題であった交通渋滞が緩和されて安全性が向上するとともに、分断されていた沿線地域が一体的となり、まちの活性化につながっています。　（事務局）

協和地蔵尊

国道一号線から路地を一寸入ったマンションの出入口の横に協和地蔵尊は存立しています。この地蔵尊は前地主が昭和57年（西暦1982）にマンション竣工と共に建立し、その後西五反田協和町会が子どもたちの健全育成祈願を目的に祀り護持しています。この時昔の地図や写真、子どもたちの作文等を入れたタイムカプセルを協和地蔵尊下に埋設し、それは50年後（西暦2032）に開かれます。詳しい経緯は品川区史2014版に掲載されてありますので一読をお勧めします。

現在は西五反田協和町会青少年部が、毎年7月の第一日曜日に協和地蔵尊の前の道路を交通止めにして子どもたちを集め協和地蔵尊祭りを行っております。又その様子は数年前に品川ケーブルテレビで放映されたことがあります。お祭りは、社会生活の一環として子どもたちの地蔵尊周辺の清掃から始まり、七夕飾り短冊に、ジャンボ絵馬に願いを込めて書き入れ、協和地蔵尊に手を合わせます。その後、焼きそば、わたがし、かき氷、お菓子等が振舞われます。又ヨーヨーつり等の遊びがあります。最近は大崎署の白バイ・ミニパト等の展示や、協和町会防災部のC・D級ポンプ等の展示を行い祭りに賑わいを添えています。

年々当町会の子どもたちは減少していますが、子どもたちの健全育成を目的の協和地蔵尊祭りは、周辺で参加される子どもたちに分け隔てなく毎年先着150名を対象として盛大に行われています。　（西五反田協和町会会長　猪爪勇雄）

ご自由にお取りいただけるよう、多数部の回覧をお願いいたします。

地域で活躍するクラブやサークルの紹介記事を募集しています！